

PIKOPIKO

王子と執事の

絶対命令3P

と者との
婚約者との
幼馴染に
鳴かされて～

完全版

PIKOPIKO

王子と執事の

絶対命令3P

と者との
婚約者との
幼馴染に
鳴かされて～

完全版

5歳のとき
父と母が事故で
亡くなつた後

幼い私は
父方の祖父に
引きとられた



母親そっくりの
気持悪い顔

父親にまったく
似てない
じやないの



「美羅さま……
泣かないで
ください」



「俺が……
一生側に
いますから」



怖い顔
酷い言葉の
広い
敷地のなかで

ただひとり
執事の
アキラだけが
救いだつた



アキラは私の
初恋の人



だけど
私が12歳のとき



アキラは
なにもいわず

私の前から
いなくなつた



そんなアキラが
帰ってきたのは
数日前のこと

ただいま



ほんの少しの
面影を残しつつ

空白の7年で
アキラは変わった





はきゅん

入れる
紅茶も
ウマ〜イ♡

まさに
ハイスぺック
S執事…!!



でも!

私に
対しての
裏表とか



はっ

7年家をはなれた
身勝手な行動とかつ
ごちそうさまでした!



ちゃんとぜんぶ
謝罪するまで
許さない
んだからー!

美羅お嬢さまっ

なによ!!!

源一郎さまより
お届け物が
届いておりますが

また!?
こりないわね
ゲンッてば…

パァパァパァ

ツカツカ





美羅ちゃん
着替えたー？

コンコンッ

キィ



はっ



はははー
ばれた？
いいじゃん
減るもん
じゃないしv

あんだ毎回
わざと狙って
入ってきてる
でしょう!?

ギャ



えー？
なんで？

だからっ
着替えてるって
いってる
でしょうがっ

手伝うし
だって俺



くるな

信じられないっ
最低バカ執事ッ
今すぐでてけッ!!









もう
子どもじゃ
ないんだから

おおごえ
大声で
泣いたり
しないわ!



み……らちや

はなして
でてってよ!!



だいぎら
大嫌いッ



あと……ッ
変わったのは
あなたのほうよ!

さいてい
最低だわっ
執事としても
男としても!!



いいすぎた？

でも
でも

もしかして
美羅ちゃん



あれ？



処女!?

生娘なの!?

もう20なのに
まだ未開通!?

かあああ



でてけ

でっ

はいはいw

つつ!!!



は...
今どき小学生だって...
ないわーw

処女!

引くわーw





変わりが
変わりすぎ
でしょうがあ!!

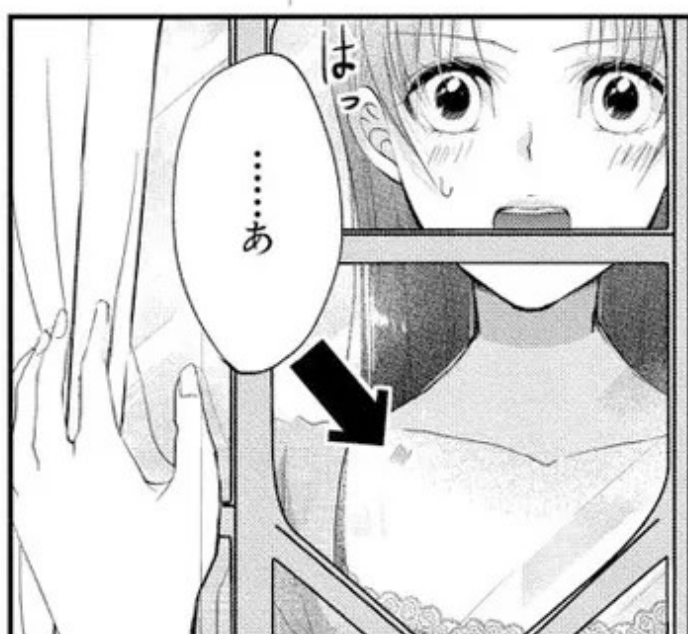
白いワンピース
着たかったのにっ
アキラめ——!



信じられないッ
3箇所もつけて!

脳みそ沸いてる
んじゃないの!!
発情期の雄か!

も——つまた
着替えなきゃーッ



……あ



ほんとう……
こんなことして

執事……失格よ

ほんの少し
ドキドキ
……してる

これはあきらを
好きだつたころの
淡い気持

……はい





いい加減^{かげん}にしろっ

どうして
すぐ解^{かい}消^{しょう}
したがるんだ!



…別に?^{べつ}
理由^{りゆう}なんて
ないわ

家^{いえ}同^{どう}士^しが勝^か手^てに
決^きめたとはいえ

解^{かい}消^{しょう}
できないのも
わかってる

ちがう



俺^{おれ}が…

解消^{かいしょう}しないんだ

解消^{かいしょう}できない
んじゃない



美羅^{ミラ}を
好き^すだから



ほんとうゲンって
変わってるわ

ふっ
—…きき飽^あきた



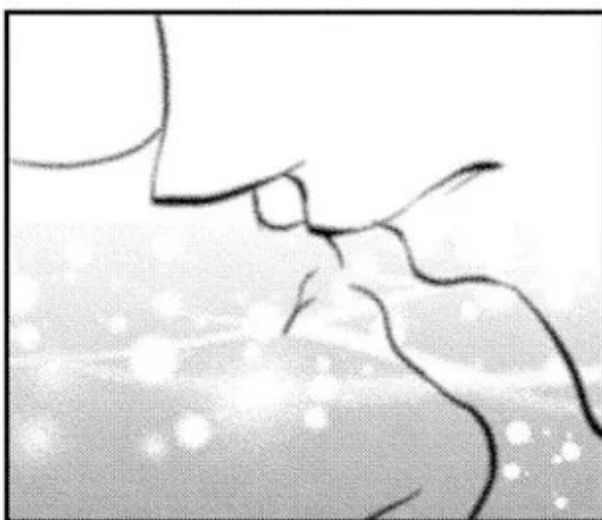


ずいぶん大胆な
害虫だな...

俺にはおあずけで
害虫には足を
開いていたのか?

そんな軽い女だと
思わなかった

見損なつた
失望したよ



私はずつと
本物たちに
蔑まされてきた



汚れた血を
引き継いでる
醜い女：
気持悪い

身分がちがうんだ
生まれ持ってきた
モノすべてがちがう

上流階級の
仲間いりをした
つもりなのか？

もど庶民が
金持気どって
んじゃないわよ

たくさん頑張つて
誰より秀でて

本物たちに認めて
もらえることは
なかった

それでも
努力しつづけた
必ずいつか
認めてもらえると
信じて…



—だけど

源一郎と
出会つて…

—私は



自分^{じぶん}が
惨^{みじ}めになつた

本物^{ほんもの}とは
絶^{ぜつ}対^{たい}に対等^{たいとう}に
なれないことに
気^きがついた

自分^{じぶん}がすごく
はずかしくなつた





……そんなに
俺が
キライなのか？



——いや

解消は
しない



……嫌だったら
こんやくかいしょう
婚約解消するの？



結婚は唯一
美羅を
手にいれる
手段だからな



怖い



熱い…
苦しい



頭と心が
壊れそうになる



アキラの
ときとちがう…
ゲンに
触れられると



痛ツツ!!

ひっあ…
だ…めっつ

やっ!!

ちゅく

ちゅ



PIKOPIKO

2

〜こんやくしや婚約者とおさななじ幼馴染みにな鳴かされて〜

おうじ王子とじ執事の
ぜつたい絶対命令
めいれい3P













...



ん？



は？

だーから
3pしよ〜☆

は！？



おまえは…
美羅の
なんなんだ



美羅
服を調えろ

執事おまえが
キスマークの
相手か？

あつたりく
俺がつけたよ☆





お：俺の
婚約者だ



なんなのほんとうに
バカなの!!

えー☆
有能執事
だよ〜

…美羅は



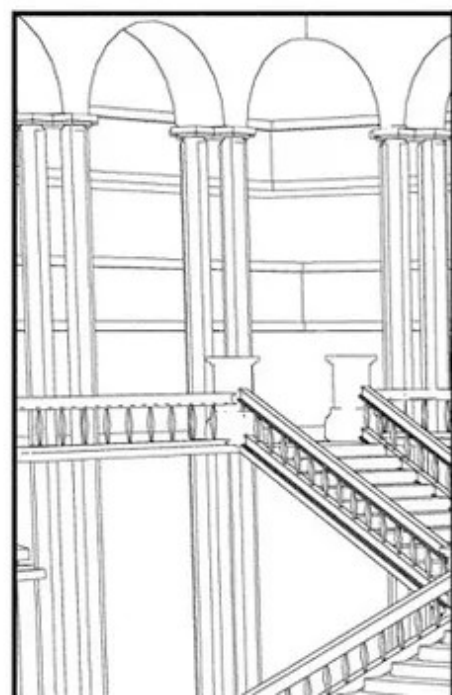
めっさるんてた〜♡

あ
そだっ
お旦那さまが
美羅ちゃんを
呼んでるんだった
大至急☆



? はあ

しってるけど
…なに?

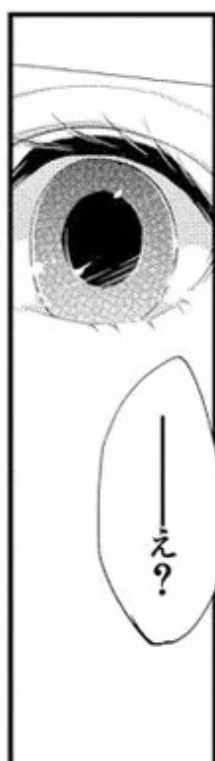
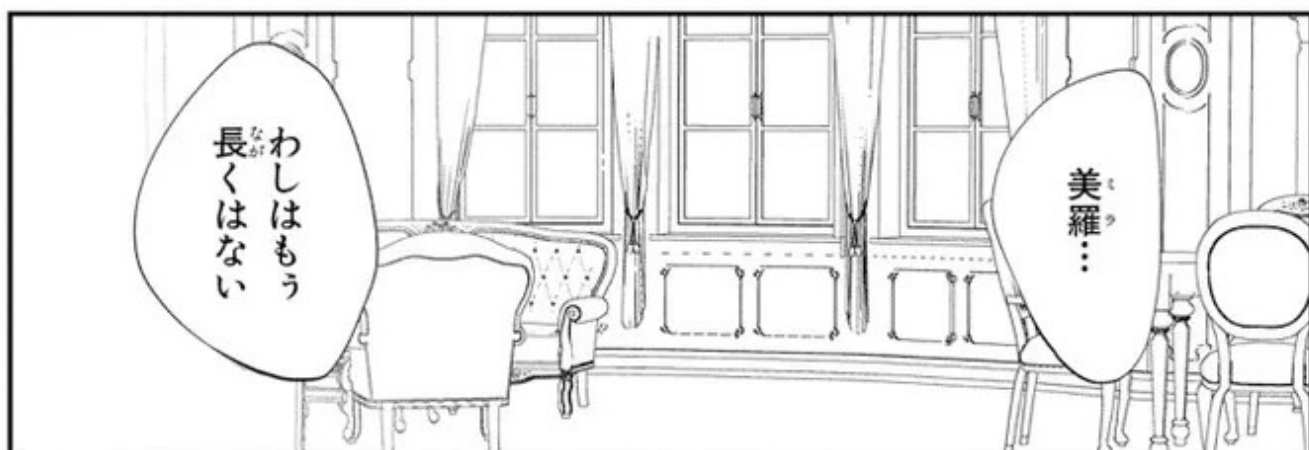


ばあいび〜

じゃーゲンさん
3Pはまた今度
やろうね〜☆









もって
あと2年^{ねん}



—家族…



婿と子ども



ワシは
孫の顔が
みたい



最後に
思い残したことは
ただひとつ

わしは
おまえの家族が
みたいんじや





おっおお
お爺さま!?
正気ですの?

美羅
男というのは
とても繊細に
できておるもの

未経験のおまえには
源一郎を
喜ばせることが
できぬのは事実

わかるな?

一刻も早く
子どもを成し
ワシに会わせる

それがワシの望み
おまえができる
唯一のワシへの
恩返しじゃ

大旦那さま

アキラおまえの
役目は調教のみ
まちがっても
孕ませることはするな

—…

はい

これで
いいのよね…

最善の策よ
お爺さまは
正しいわ



源一郎と
セックスするために
アキラに抱かれる

…

だけど

かちゅっ

あ
やっと
きたー！

この部屋の先に
アキラがいる
私は抱かれる
…それでいいの

ううん

…これでいい
考えちゃだめ









待てないんだよね

待たない
っていうか



ガツつくねー
ゲンさん☆
セーブ
できない感じ?



ってかゲンさんに
さっき一服
盛ったんだけどね☆



つつゲン!!
やつつ

待つ…

やっだ!



もうさつきから
美羅ちゃんが
美味しそう



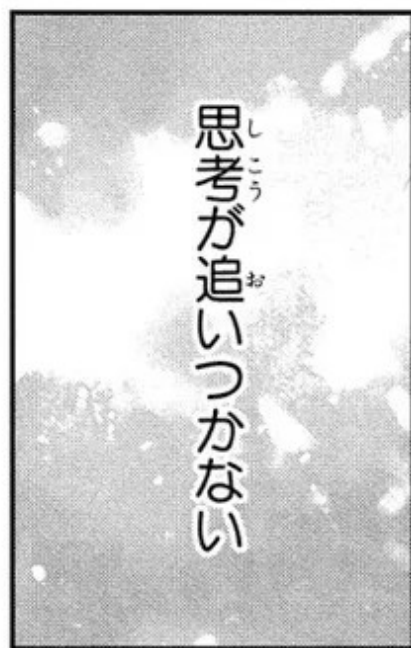
インド産の
高濃度の媚薬V

ちなみに俺も
ちよつとだけ
試しに舐めたV



大切に少しづつ
やさしく開花
させなきゃ
いけないのに…ね

ほんとう困るな…



思考が追いつかない



んっ

やっんツツ



美...羅

はぁ

はぁっ

はぁっ

ええ?



ちゅ

触られると
からだが酷く
敏感になる...



んっ

んっ
んっ
んっ

ぬいゅ

ちゅっ



それに...
やっぱり

はぁ

あっ

やっ

源一郎に
さわ

はぁ

やっ

んっ





んー…じゃあ
美羅ちゃんも
媚薬飲もつか



助けて…
くれないの!?

やだあああッ



どうして…
アキラツツ

すぐに気持
よくなるからね☆

王子^{おうじ}と執事^{しやくし}の

絶対^{ぜったい}命令^{めいれい}
3対^{たい}P

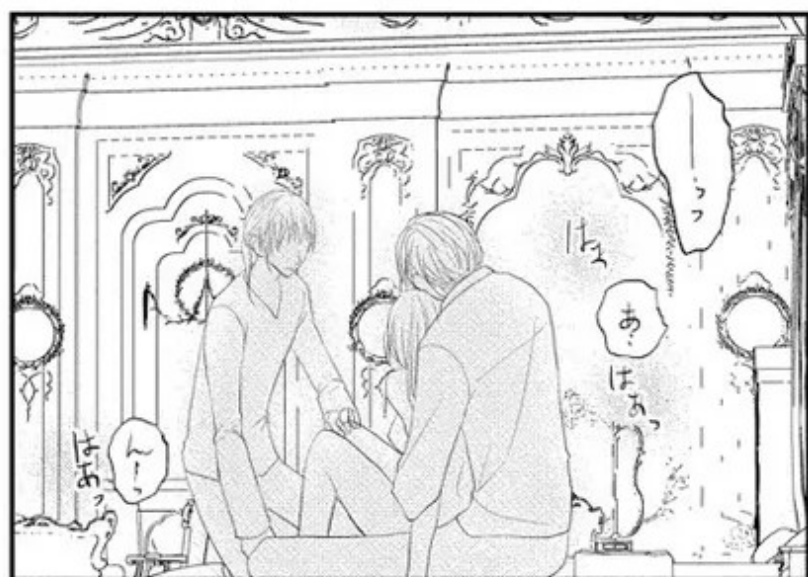
〜婚約者^{こんやくしゃ}と幼馴染^{おさななじ}に鳴かされて〜

3

PIKOPIKO







！...指^{ゆび}
入れられただけで
...イったの？



げん……ッ



媚薬に免疫無いから
効き目強いのかな…？

ゲンさんも
けっこうキてる
っぽいし



解毒剤とかも
無いしまあ
しょうがないか

うーん
ゲンさんには
けっこう盛った
からなあ…



俺も
けっこう
キてるし









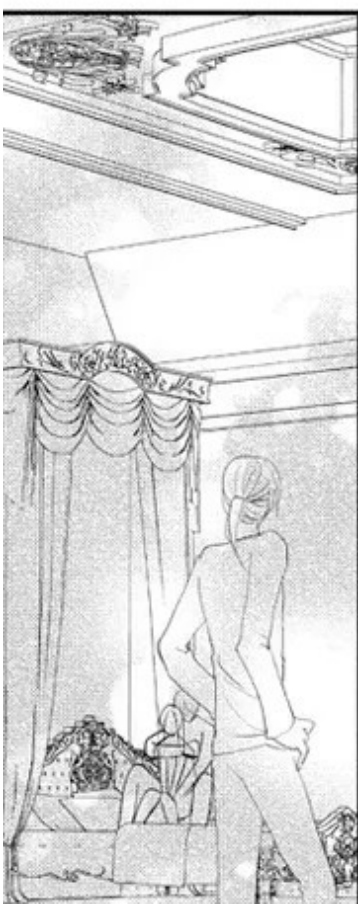
わかるかな？
美羅ちゃん

コレ
3Pは俺の
お仕事
仕事なんだ

助けるなんて
ありえないことだから
望まないでね

っていうか…

あ…
いや



よしっ

じゃ俺ポチの
散歩してくるから
もどってくるまで
ふたりでしててね

あー

ゲンさん
くれぐれも
やさしくね〜



はー

！…美羅



おまえが
誰が好き
だとしても

俺の
気持は
変わらない

婚約も
破棄はしない
ぜったい





—ゲン



—

昼間もさつきも
強引にして
悪かった

——俺も頭
冷やしてくる

執事がもどって
くるまでには
もどるから
服着ておけ









真剣に
愛しています

大好きですよ



ニユ♡



ギ
ッ



とりあえずきようは
ここまでってことで
ゲンさん帰っていいよー

美羅ちゃん
俺がしつかり
みとくから♡

ふざけるな！
抜いたらもどる！
おまえはココで
待っている！

えー？ 待ってる
だけとか
つまんないなー

抜くの
手伝って
あげるよ
ゲンさん☆

気持ち悪いこというなー！

ギ
ッ









そんな顔
しないで
笑って旅行
たの
楽しもうよ

ね？



—
！
…



絶対
俺が守って
あげるから



嫌な思いも
怖い思いも
させないから



3Pは俺の
仕事だから

助けるなんて
思わないでね



なによ…
絶対って

だったらきのうの
言葉はなんなの!!



絶対なんて
勝手すぎるわ…
アレは助けて
くれないくせに

あなたに絶対なんて
いう資格はない!!



でしたら…
本能のままに



源一郎さまから
引き剥がして

屋敷から
連れだして

無理やり
毎日犯して

孕ませて…

あなた
貴女を
死ぬまで
監禁して
いいのですか？

仕事として
割り切らないと
暴走しそうに
なるんです

……

—っっ
どうして…
そうなるのよ



4

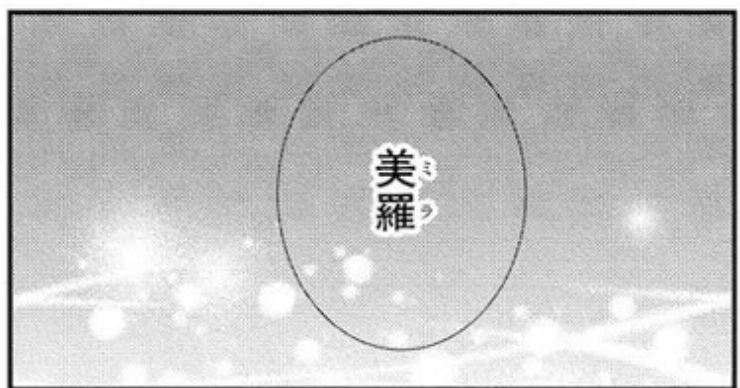
王子と執事の

絶対命令

3P

こんやくしゃ
おさななじ
婚約者と
幼馴染みに
な
鳴かされて

PIKOPIKO









きようはその件で
呼びだしたんじや
落ちつけ源一郎



源一郎です
入ります!!

美羅との結婚発表
ってなんですか!
僕はなんにも
きいていませんよ!



来週の船の
パーティーで
結婚発表して正式に
縁組をすると!!!

その件もなにも
決定だと
母にききました!



なにが不満
なんじや?

おまえが美羅を
見初めて強引に
婚約の話を進めたん
じやろうが?

そうですよ...

だからこそっ!!!



結婚はちゃんと
美羅の返事を
もらってからに
したいんです!!



——なら
今からでも
返事をもらってこい



だったら
発表の日までに
うなずかせるんじや

なんなら
わしから美羅に
返事をさせ

俺は美羅自身の
気持をもっと
大切にしたいんです!



決定は決定じゃ
気持なんて
後からでも
すぐ変わる

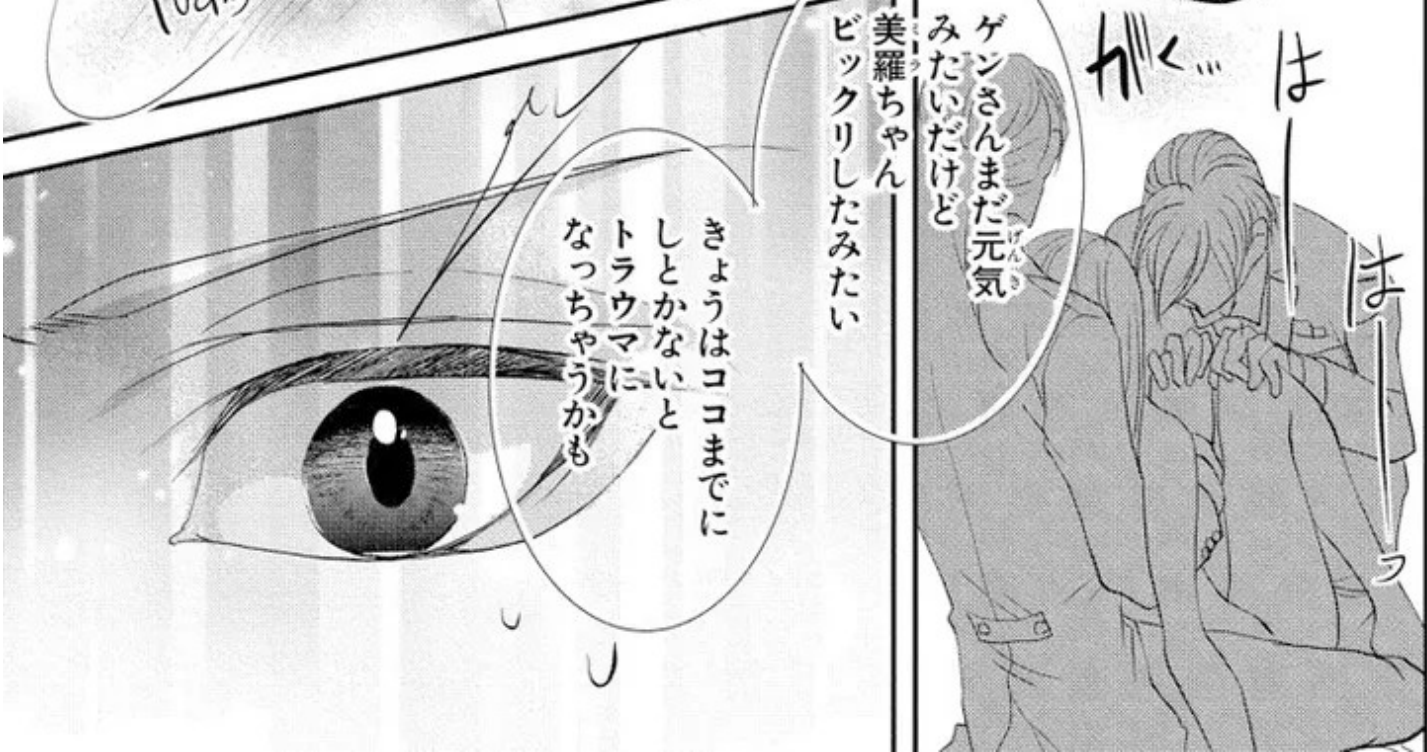
——この話を
白紙にするなら
美羅をほかの男と結婚
させることも考えるぞ







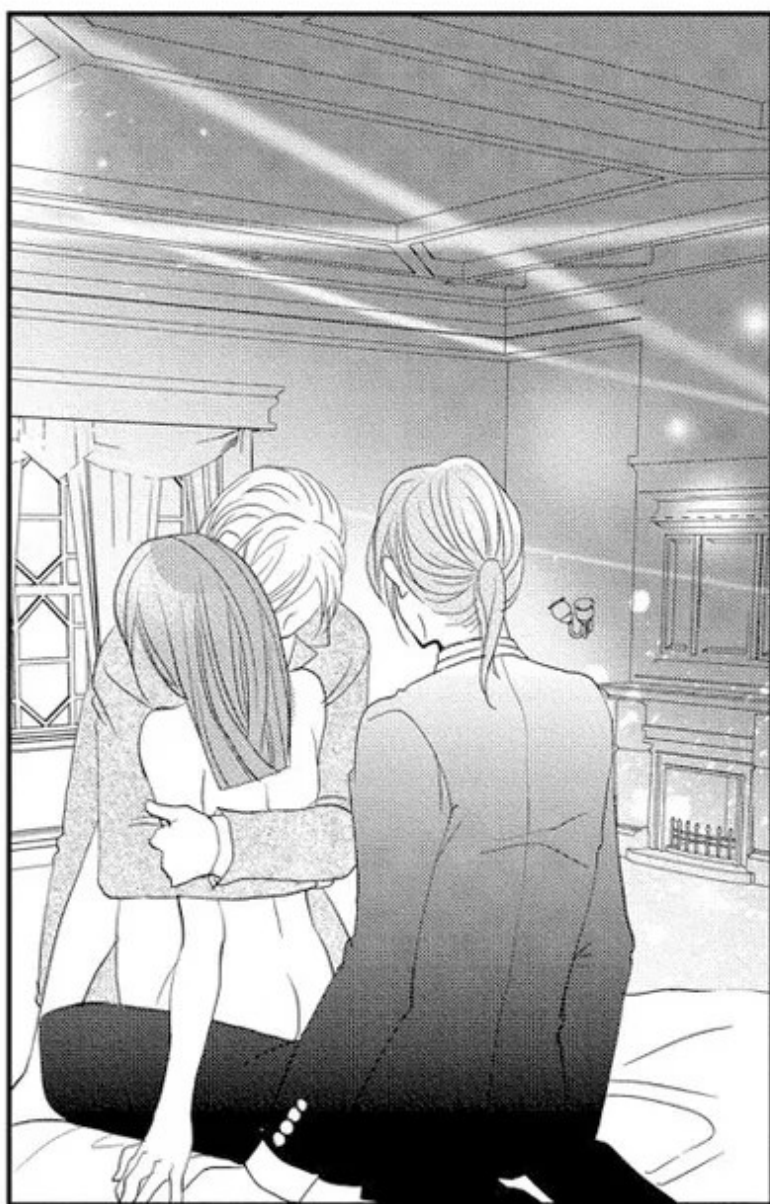




ゲンさんまだ元気
みたいだけど
美羅ちゃん
ビックリしたみたい

きょうはココまでに
しとかないと
トラウマに
なっちゃうかも

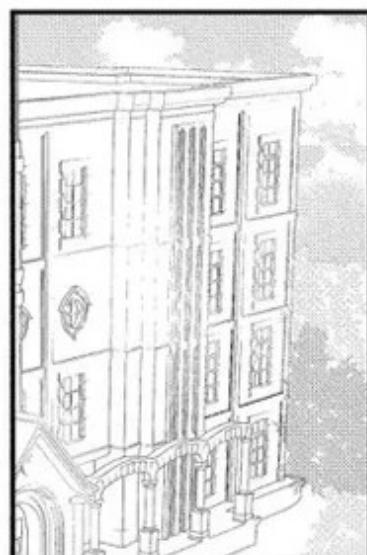
は...
は...
は...





「まだ処女だから
安心してV」
とかいつてたけど

朝起きたら
またふたりに
挟まれてた



あぁあつ
すいませッ

きやッ

ドン

廊下は
走らない!!

すすす
すいません!!!



あんなこと
されてもまだ
処女だなんて...



気のせい
かしら...

なんだか
屋敷のなか
が慌ただしいわね



考えごととしてた
私も悪い
んだけどね



屋敷のなかもだけど
お爺さまの部屋にも
みんな入りびたつてる…



私だけ蚊帳の外
って感じだし

なんだか
少しだけ
嫌な感じが
するわ…



どしたのー？
暗い顔してー
顔だけがとりえ
なんだから笑顔笑顔ーw

ひと言ふた言多いわよ
バカ執事!!!
別にないわよ!



おい
ちゅんら♡



すっぴんの
ミルキティー……



—ねえ？
俺の仕事
ひと段落して
暇なんだよねー

ゲンさんとの
出会いとかく
いろいろききたいな

はーい

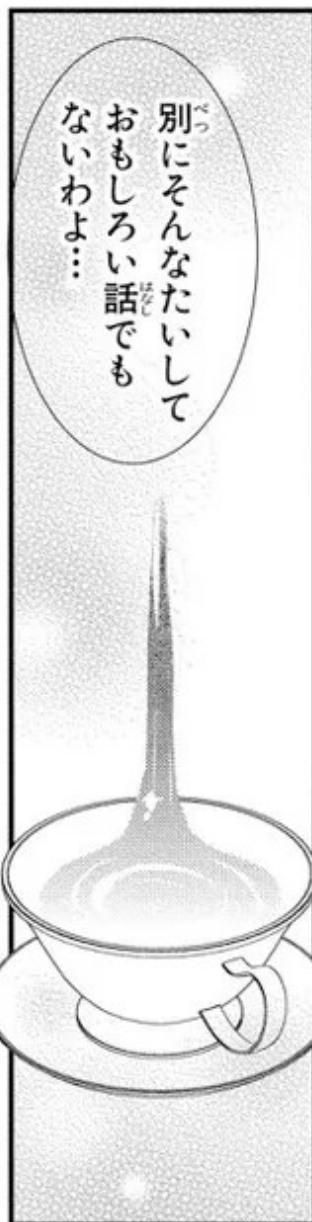
美羅ちゃんも
暇なんでしょう？

スペシャル
ミルクティーいれて
あげるからさ



私ずっといちばん
だったのよ
主にテストとか

ま
当然よね
だって

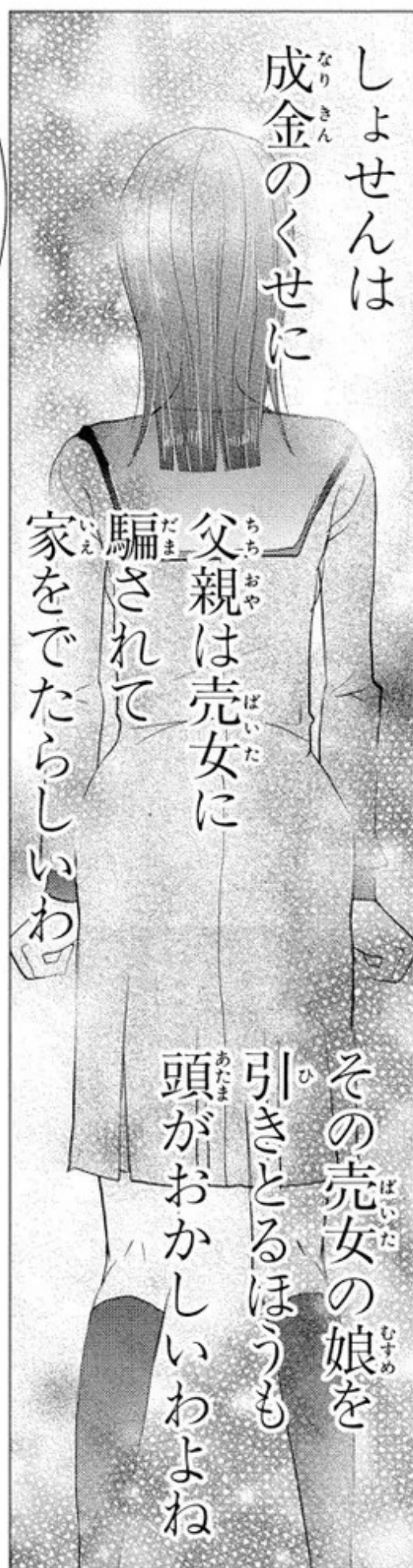
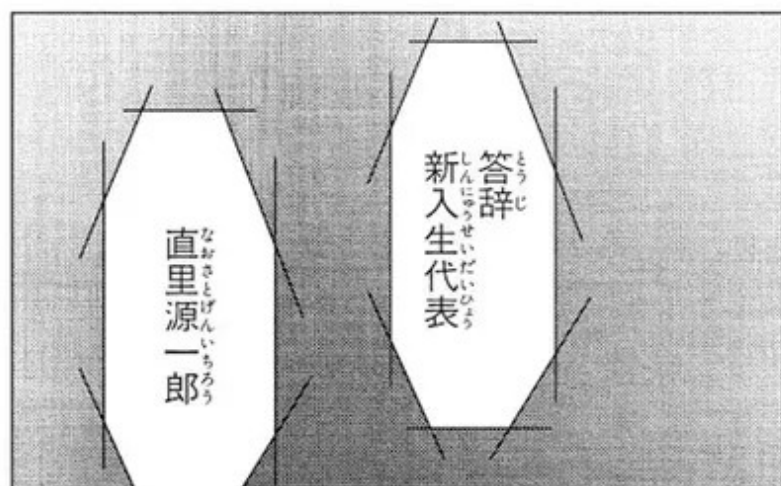


別にそんなたいして
おもしろい話でも
ないわよ……



お金さえあれば
入れるような
甘ちゃんばかりが
通ってる場所なもの

だからこそ
絶対誰にも
負けたくなかった



私じやなかっただ…

源一郎のことを
しったのは
その日が最初

入学おめでとう

悔しくて
悔しくて…

中間テストからは
絶対1番は
譲らないって
勉強したのよ

でもまた2番

源一郎
美羅
一太郎

周りからは
2番だといわれ
今まで築いてきた
1番って武器を
失った私は

病んだわ
絶望的に

しよせんは
庶民ってこと

なにしても
むだなのに
見苦しいわよね

今までが
まぐれだったのよ

そんなときに
源一郎と
初めて会話をしたの

あーら
ごめんあそばせ
庶民さま

……ツツ

大丈夫か？

転んだのか？

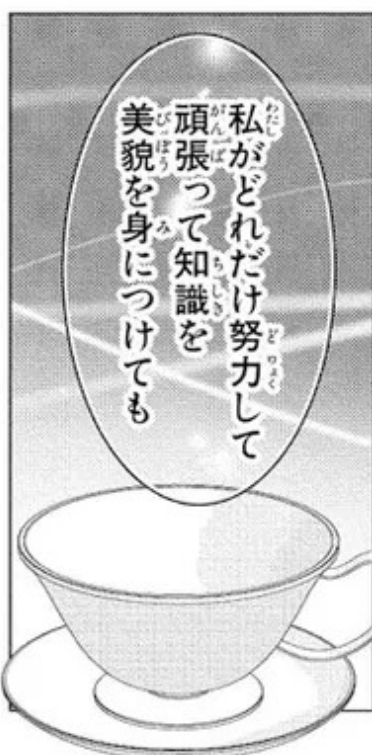
怪我は？

直里……源一郎













たった
それだけのこと……

……

それ……だけ



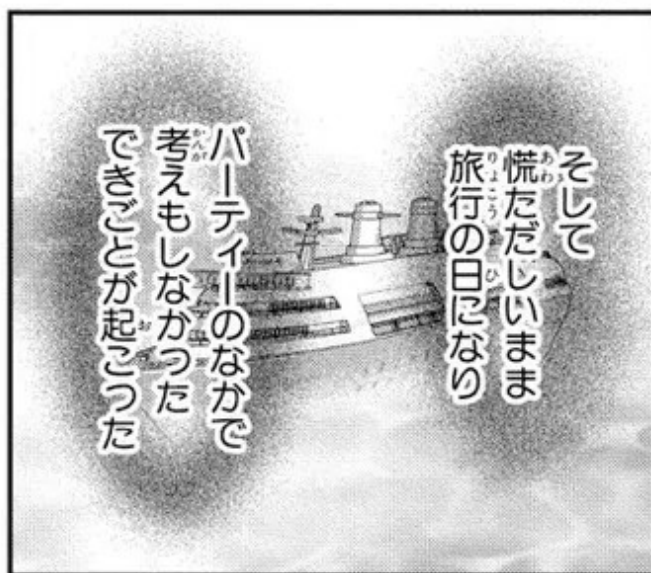
あそうだ
ちよつと
頼みごととして
いいですか？

誰にも
ないしよの
頼みごと



美羅さまと
なにをおしゃべり
されてたのです？

のろけ話
きいてた
だけです……



そして
慌ただしいまま
旅行の日になり

パーティーのなかで
考えもしなかった
できごとが起こった



はい！

いつもお手伝い
していただいていますし
なんでもいって
ください！

ありがとうございます

PIKOPIKO

おう 王子と

執事の絶対命令

婚約者と幼馴染に

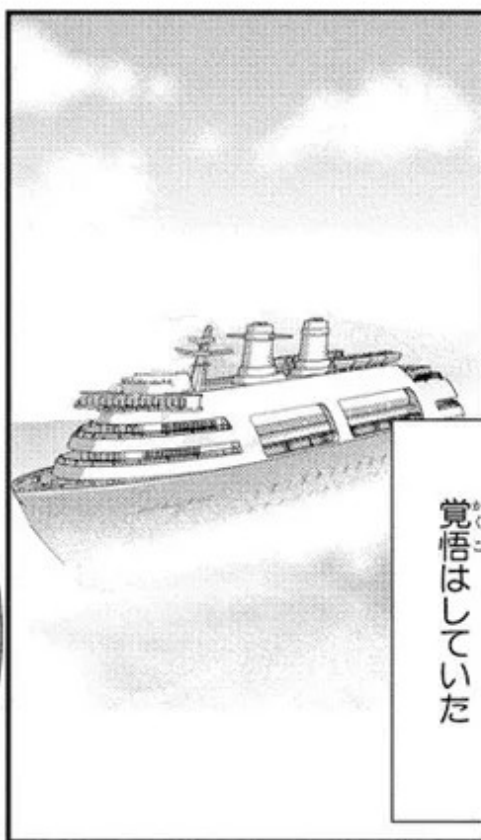
鳴かされて

3P

5



お久しぶりね
美羅さん
ちよつと
いいかしら？

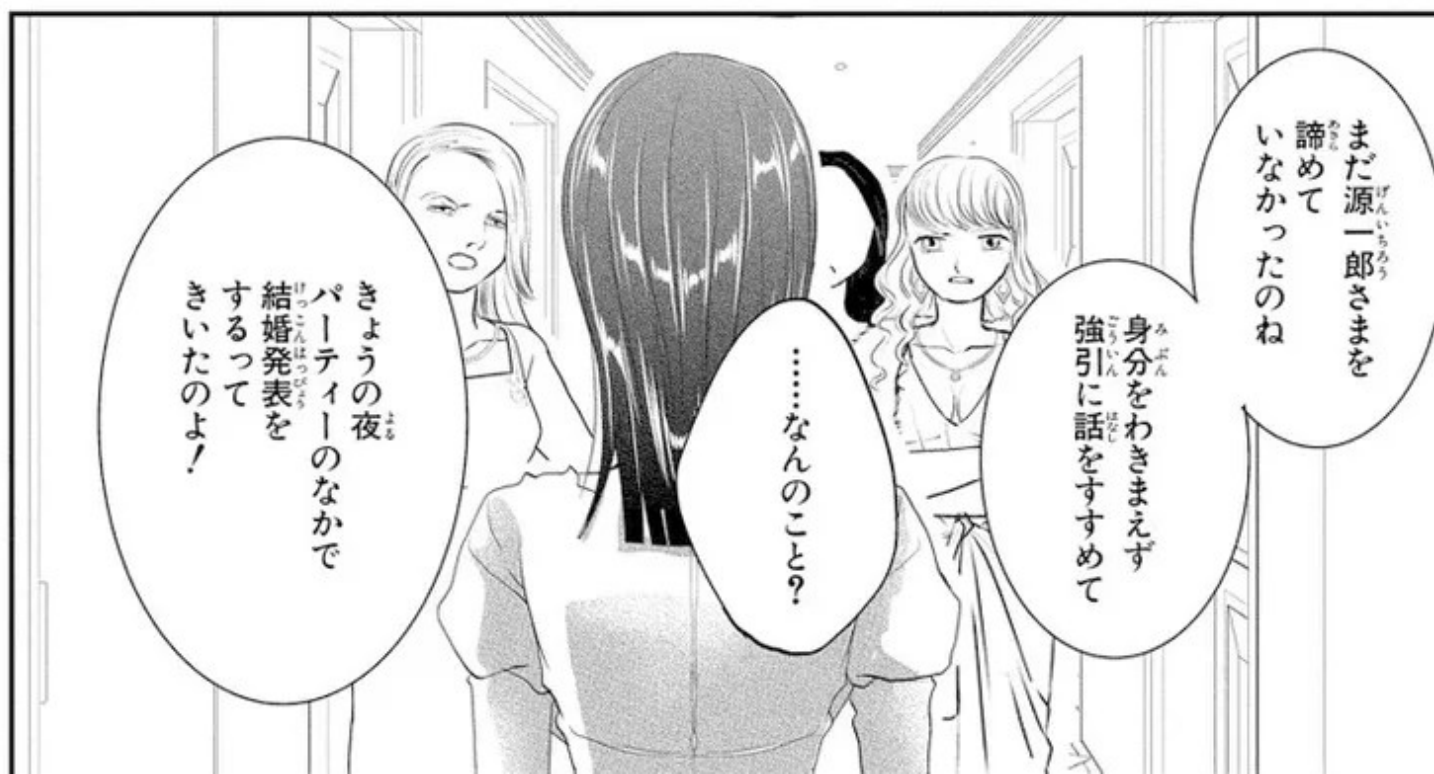


源一郎の取り巻きや
親族たちに
吐かれる言葉

船に乗ると
わかつたときから
覚悟はしていた



きた……
早すぎ……



まだ源一郎さまを
諦めて
いなかったのね

身分をわきまえず
強引に話をすすめて

……なんのこと？

きょうの夜
パーティーのなかで
結婚発表を
するって
きいたのよ！



結婚発表？



とほけないですよ
しらじらしい

ほんとう
源一郎さまも
早く目を
覚ましてほしいわ

母親譲りのよね？
男を惑わせる
はしたない性格



たったそれだけのこと



それだけのこと

で？

いいたいことは
それだけ？

なによそれ！
あんたみたいなの
汚れた血族

源一郎さまに
釣り合わないのよ

美羅



源一郎さま
結婚なんて
考え直して
ください!!

やっぱりこの娘
家柄や地位が
目当てですわ!!



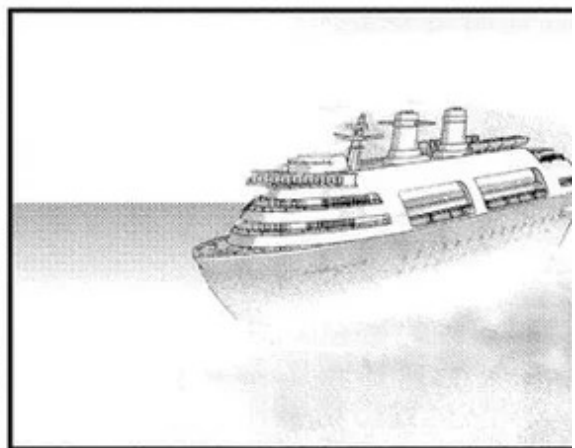
くだらない
話を
するくらいなら
失礼させてもらう

いくぞ



家柄?

美羅は
家柄を気には
していないが
ほっしてはいない







ちがうわよ…

ばか



家柄や血筋…
それだけのことに
こだわって

ずっと

源一郎に
いえなかった…

私は





好き

源一郎のことが...



—え
ああ...

そうだな



アキラは...
初恋だった人
子どものころのことだし

だから今は...

—...
なにか
いってよ

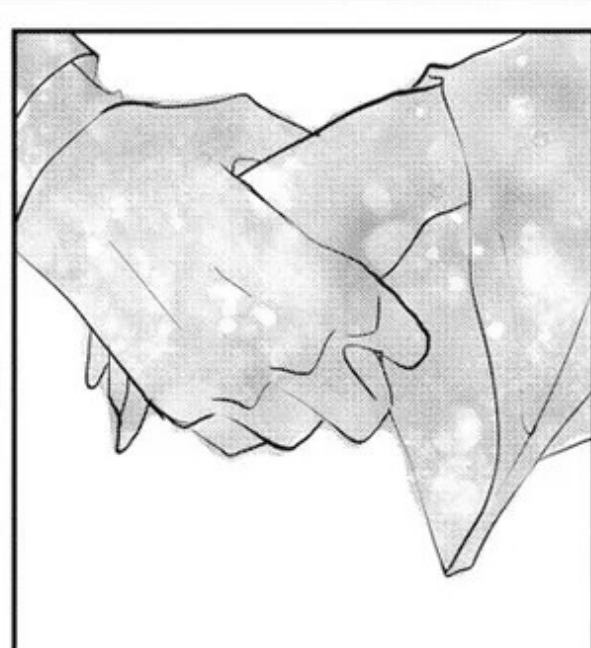
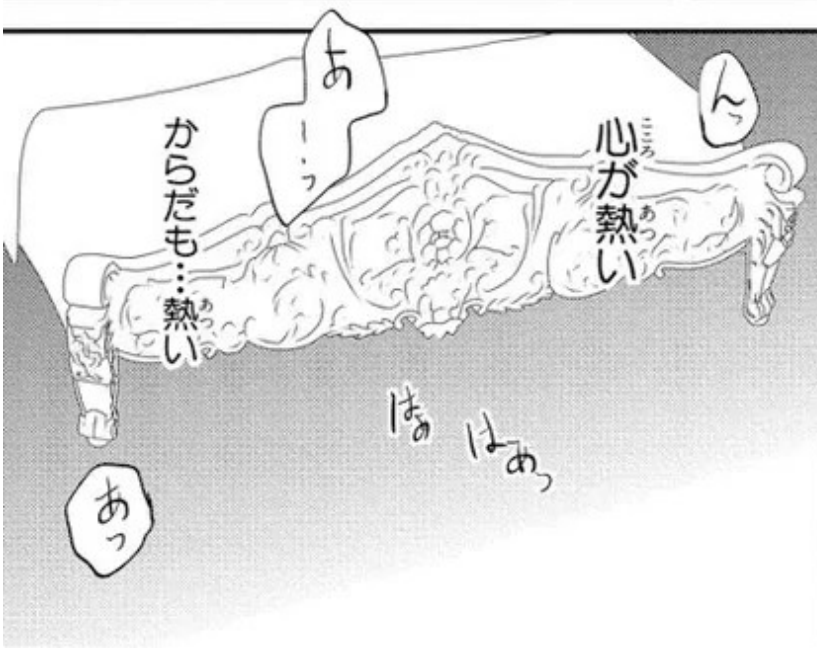


—あ...

ありがとう

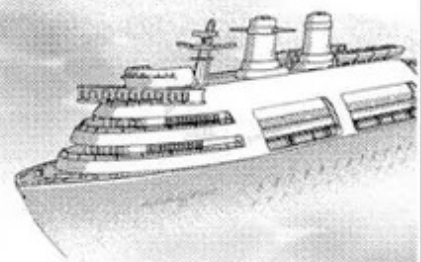
嬉しい...







源一郎を
愛してる



アキラさま

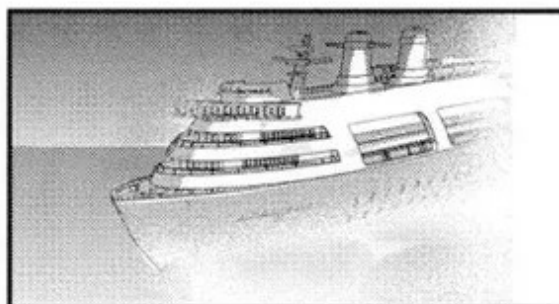
ふっ

例の件ですが

ええ

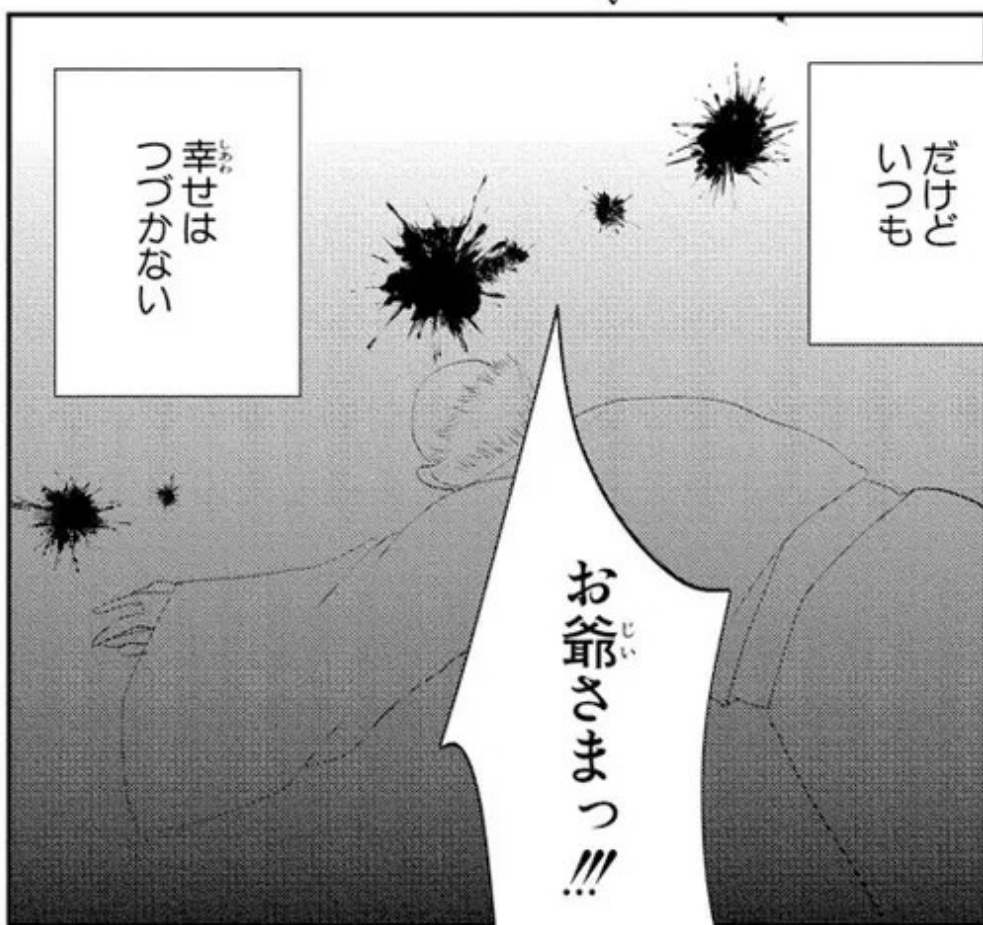
そろそろ

はじめましょうか



おおだんな
大旦那さまが!!!

ミラ
美羅お嬢さまっ
たいへんです!



しあ
幸せは
つづかない

だ
けど
いつも

おじい
お爺さまっ!!!

—
え?

お爺さまが
亡くなつた

その連絡
だけを受け
私は死に目にも
会えていない

かちや...

キッ

私は
あの船の夜以降
部屋に監禁
されている

そんな顔
しないでよ

美人が
台無しだよ







源一郎
げんいちろう



いいね
この姿



ゲンさんにも
みせてあげたい



あ…
濡れてきたね
ゲンさんの
名まえ効果？

やだなあ…

俺のほうが
美羅ちゃんのこと
ずっと前から
好きだったのに



成金の
仲間いりが
できたときに



今みたいに
おさえが
きかなくなるって
わかったから

7年前屋敷をでて
君に見合う男に
なるために

ホストになって
金持のパトロンを
数人つくって



美羅ちゃん…



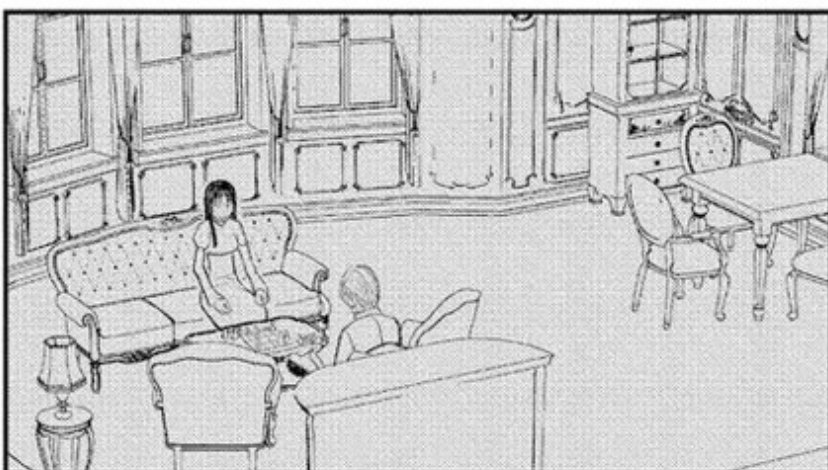
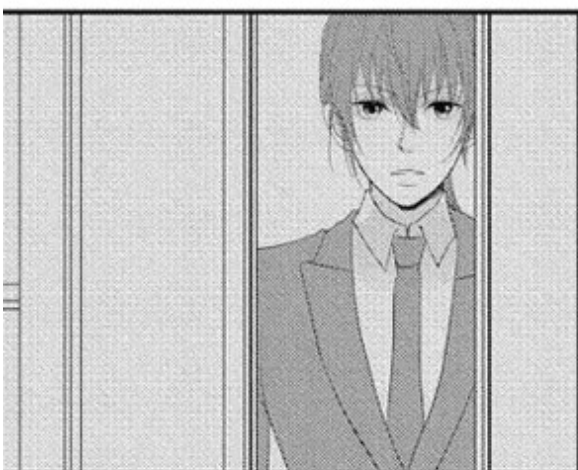
死ぬ前に
ひと目だけでも
会いたくて

会いにいったんだよ



俺は…

…余命2年の
宣告を
受けたんだよ



すべては
君を買うために



執事として
屋敷にもどり
仕えるふりをして
チャンス waited



君は俺の
知らない顔をして
幸せそうで...

その日からずっと
この計画を立てた



そうだよ
君はもう
俺のモノだ



買う...？



大旦那さまが
亡くなると同時に
破産するよう
多額の負債を
背負うように

俺が真っ先に
君を買えるように
裏ですつと
動いてきたんだよ



だから

俺が
死ぬまでに

俺との
子どもを産んで...

美羅

おう王子と執事の絶対命令

く婚約者と幼馴染に鳴かされてく

6

PIKOPIKO







ゲンさんと
3人でしてたときは
凄く濡れてた
んだけどな…

— そうだ

いま
今この場所に
ゲンさんを呼ぼう

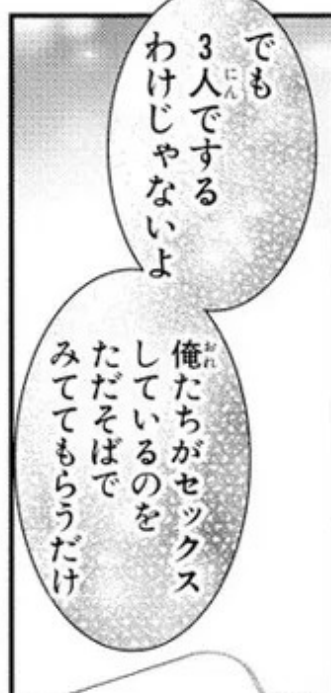


ヤッ

やめて…嫌っ
そんなの絶対ッ



— いや!!



でも
3人でする
わけじゃないよ

俺たちがセックス
しているのを
ただそばで
みてもらうだけ

みられてる
だけでも
感じちゃう
でしょう?





私…はっ
源一郎じゃ
なきや…い

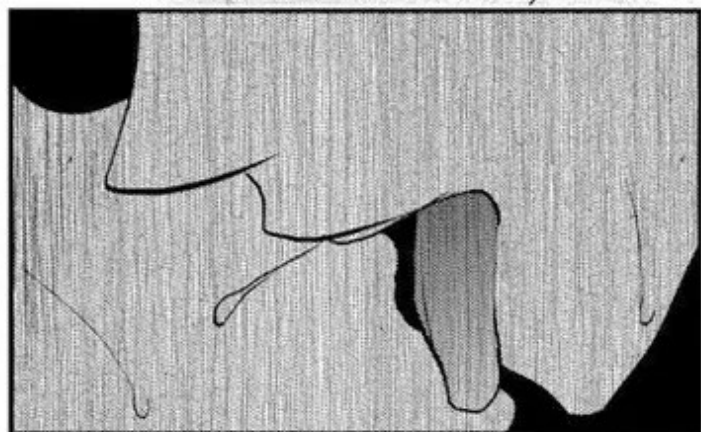


—でき
ない…

はっ



美…羅



や…あ

やめッ…

いやっ!!



みらっ

ミラッ



源一郎っ
助けて!!



私...は

源一郎
じゃなきや
嫌なの!!



ゲンさんは
借金だらけの
お荷物な女は

いらないって
いってるんだけど?

うーん...
困ったな





身分とか地位とか
そんなこと
気にしてたのは
私だけよ!!



ちがうっ
げんいちろう
源一郎は
そんなこと
いわない!!



そうだよね?
美羅ちゃんだけが
気にしてた...



今のこの
状況は前よりもっと
ゲンさんと格差
あるんじゃない?

助けを求めて
その後
どうするの?



幸せしあわせになるのよ!!

絶対ぜったい

ふたりで!!



— 幸せしあわせに

…するわ



私わたしを愛あいしてくれて
いる
あの人ひとを…

源一郎げんいちろうを
幸せしあわせに
できるのは
私わたしだけよ!

— ははッ









—うん



ぜんぶ…

ス…

うそなのよね？
ほんとうに…



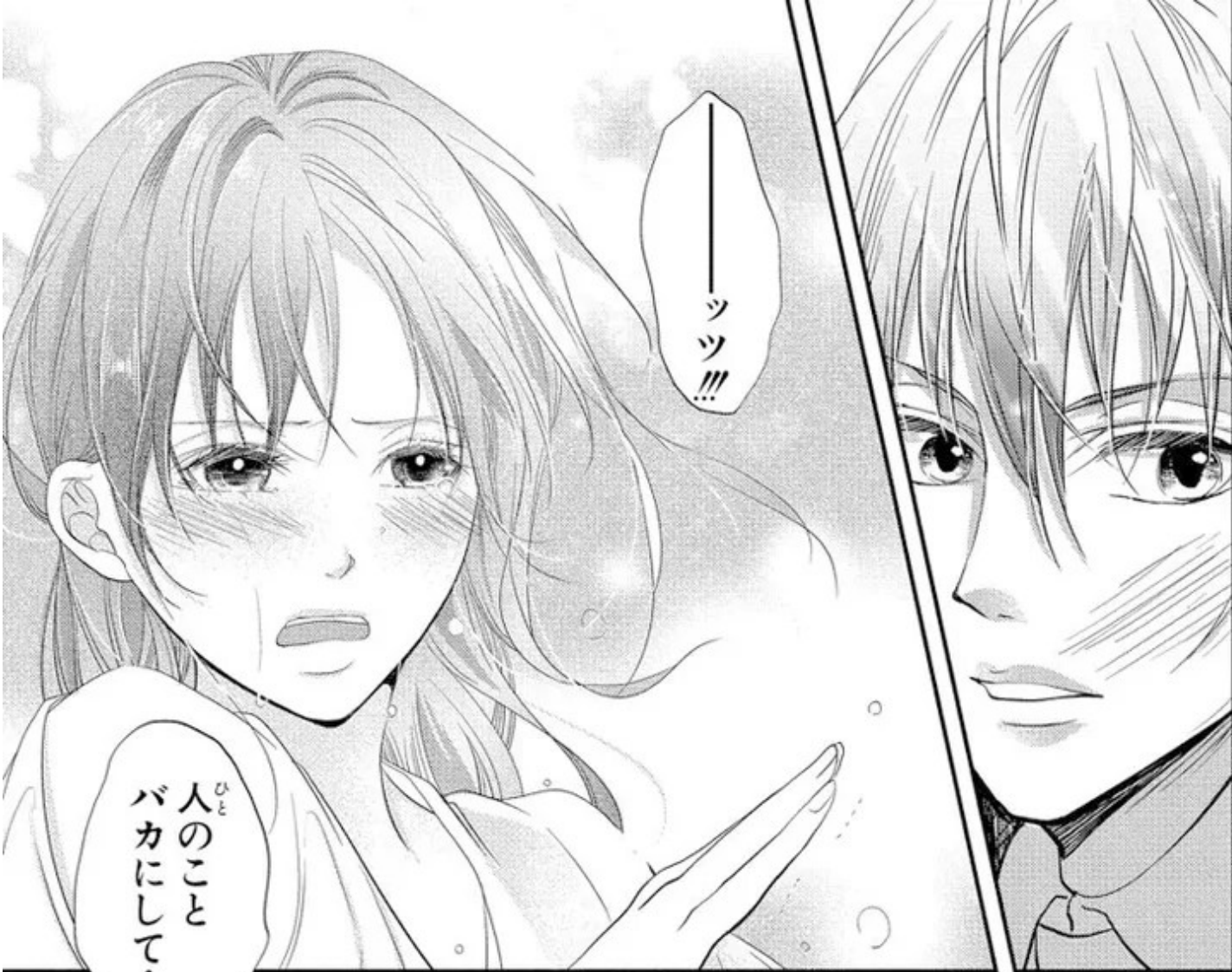
そう…



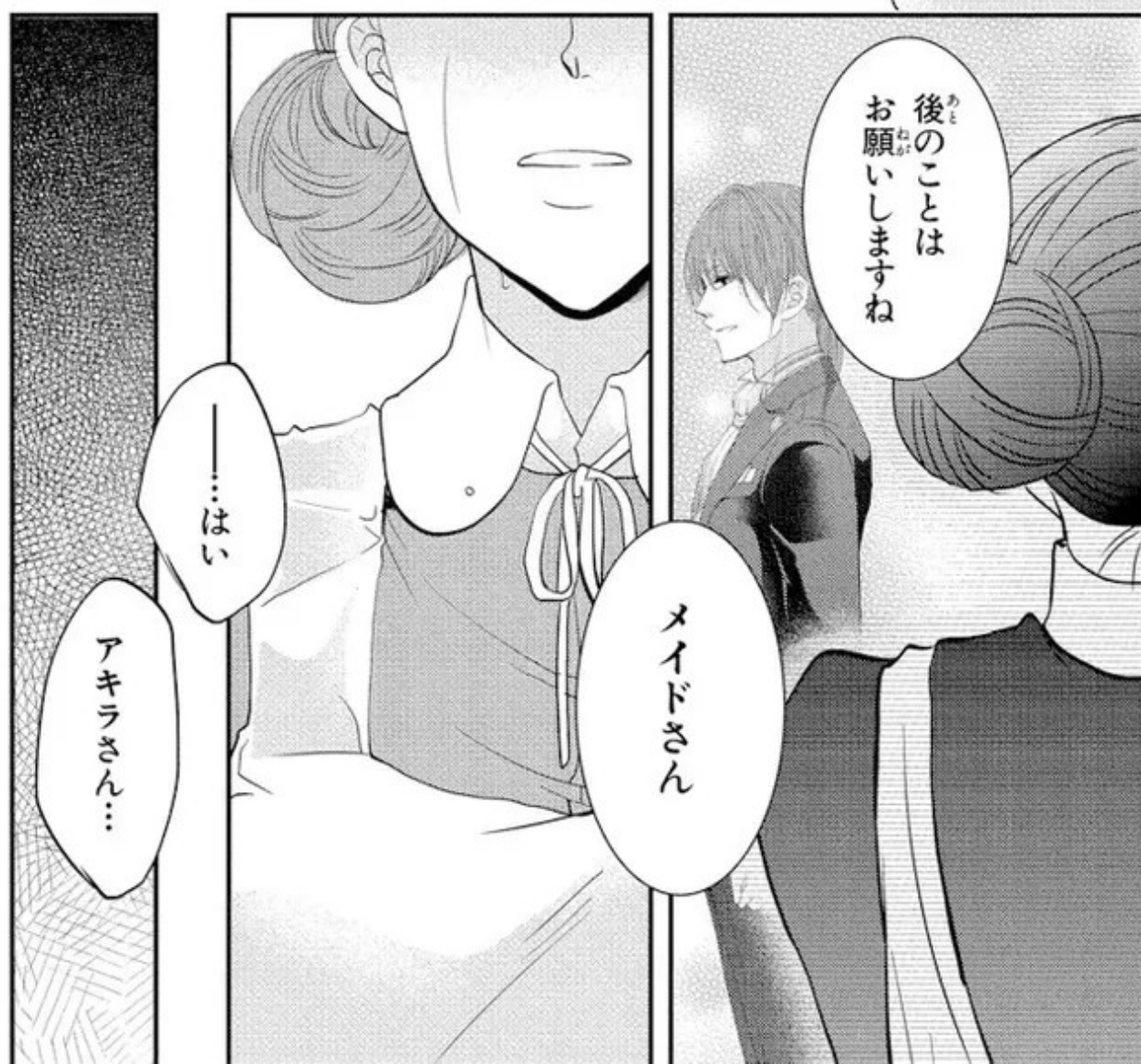
ぜんぶ
うそだよ☆

ビックリ
させて
ごめんね

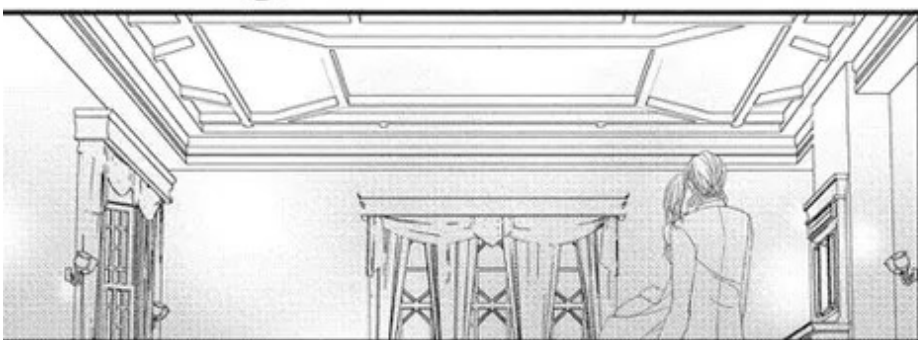














私たちは
結婚した

同時に

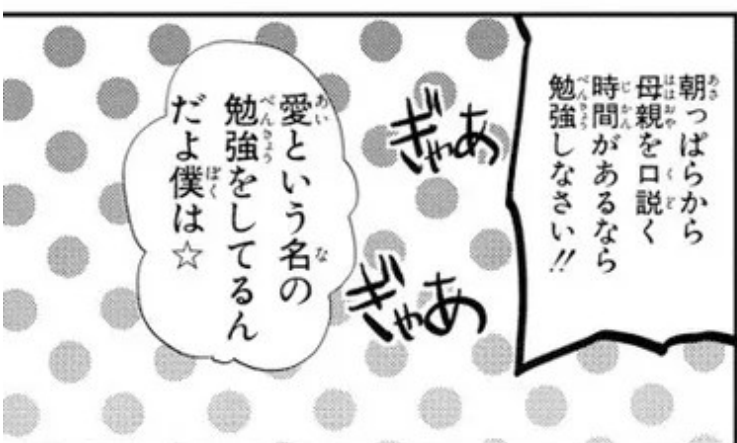


—5年後—

アキラがまた
私の前から
姿を消した

7年前と同じ
なにもいわず
勝手に
いなくなつた



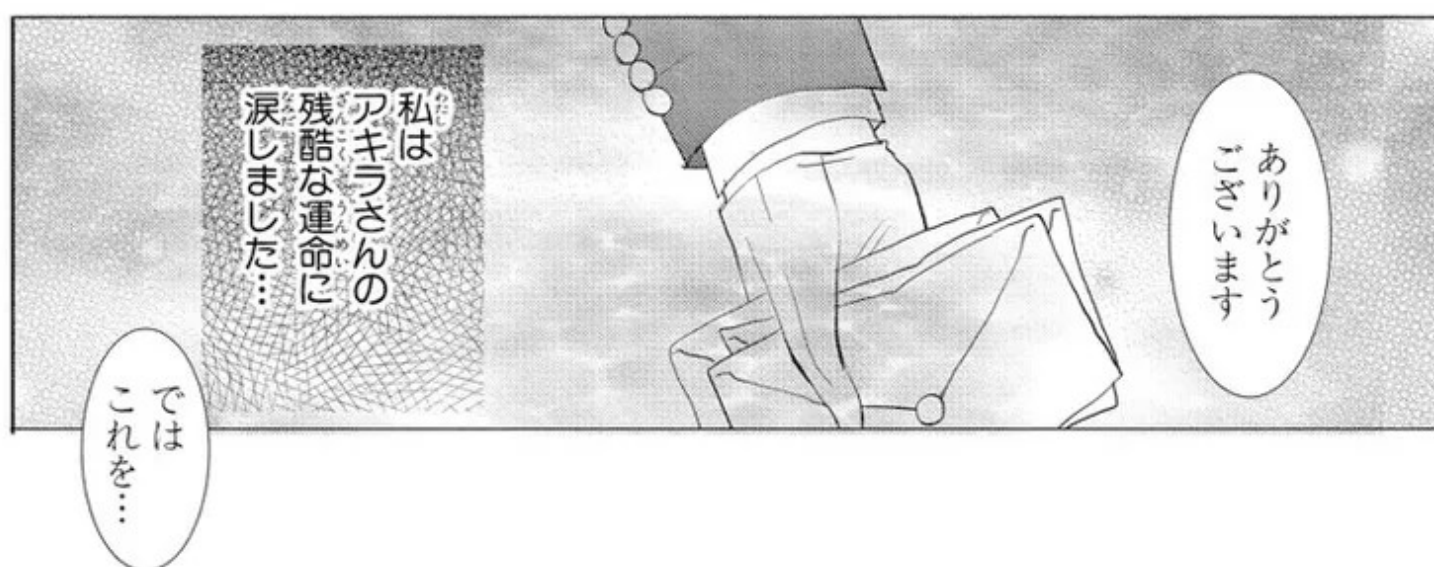








お願いされた
あのとき



手紙…
ですか？

僕…
心臓の病気で
あと半年しか
もたないんです

美羅ちゃんと
釣り合いたくて
お金貯めた矢先に
発症

悲しくて
会いたくて

会いにいった
その先で
美羅ちゃんは…

恋をしていて
素直じゃなくて
ほうって
おけなかった

ゲンさんと
うまくいって
ほしい…

好きだからこそ
最後になにか
してあげたい

だから
屋敷にもどった

大丈夫必ず
怖いモノから助ける
君の幸せを守るから

ことがすべて無事
終われば
僕は姿を消します

必ず僕が
美羅ちゃんを…

きっと
ふたりは心配する
でしょうし
だから…コレを

ゲンさんと結ばれ
幸せな生涯を
送れるようにする

お願いしたくて

5年^{ねん}にいちど
ふたりに
手紙^{てがみ}を渡^{わた}して
ください

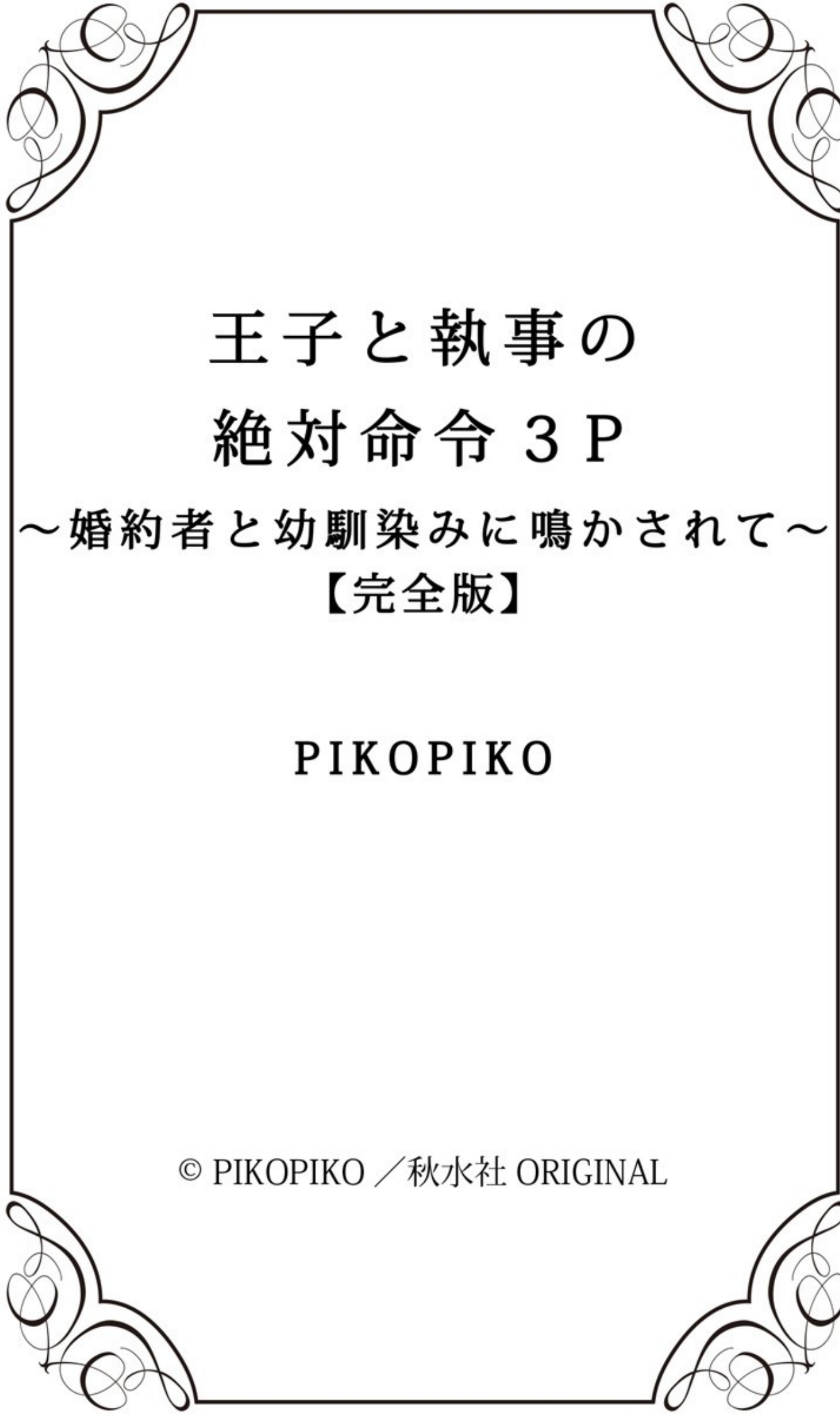
僕^{ぼく}が生^いきて
元氣^{げんき}でいると
ふたりが
氣^きに病^やまないように

やさしくて強^{つよ}い
あなた^{あなた}の
氣持^{きもち}と願^{ねが}い

必ず^{かならず}私^{わたし}が
ふたりの幸^{さいわい}せを
見守^{みもも}りつづけます



END



王子と執事の 絶対命令 3P

～婚約者と幼馴染みに鳴かされて～
【完全版】

PIKOPIKO

© PIKOPIKO / 秋水社 ORIGINAL